

第4回ひょうご高校生 環境・未来リーダー育成プロジェクト（3～4日目） 実施報告

日時：令和5年11月25日（土）9:40～26日（日）16:00

場所：11月25日（土）現地視察（六甲北摂コース、淡路コース）

11月26日（日）兵庫県立工業技術センター セミナー室

参加者：22名（4名欠席）

宿泊場所：ホテルウィングインターナショナル神戸新長田駅前

内容：

■11月25日（土）10:00～17:30 現地視察

① 六甲・北摂コース 地域循環共生圏（エネルギー、資源の地域循環）

参加人数：11名

視察先：◇弓削牧場（弓削牧場 弓削氏）

牛の排せつ物からメタンを取り出しエネルギー利用するバイオガス化施設の視察。消化液を地域の有機肥料に活用。

◇六甲川水車新田小水力発電(PV ネット兵庫グローバルサービス 河原氏)

昔水車小屋があった六甲川に21世紀型の水車を復活。エネルギーの地産地消、学校教育や環境学習の場として活用する現地を視察。

◇神戸バイオマスラボ（徳島地域エネルギー 豊岡氏、兵庫県 満月氏）

地域の里山の再生とそこから得られる木質バイオマスの熱利用について。

また、兵庫県で取り組む地域循環共生圏についての取組について。

◇西谷ソーラーシェアリング（宝塚すみれ発電 井上氏、

西谷ソーラーシェアリング協会 古家氏）

市民農園を通じた再エネでのまちおこしについて。

※予定していた県有環境林の伐採地は時間がなく見学を見送り。



② 淡路コース 再エネと地域貢献（メガソーラーと地域課題解決型発電所）

参加人数：11名

視察先：◇龍谷フロートソーラーパーク洲本（洲本市企画情報部 高橋氏）

地域の産官学が連携したため池を利用した太陽光発電所の視察。地域内の農業用ため池の課題を再エネ事業と組み合わせることにより解決。売電収入の利益は洲本市の地域活性化事業に活用。

◇淡路ソーラーファームの視察（オーナーの方）

農地でのソーラーシェアリングの現状と課題等を視察。

◇洲本市の再生可能エネルギー事業・竹チップボイラーの視察

(洲本市企画情報部 高橋氏)

地域貢献型再エネ事業、多様な連携によるまちづくりについての講義。放置竹林の間伐材を利用した竹チップを主燃料とするバイオマスボイラーの視察。

◇杉本林業（杉本林業 杉本氏）

放置竹林の課題解決と地域資源の有効活用に取り組む現場を視察。

◇淡路貴船太陽光発電所（貴船太陽光発電所 福田氏、小玉氏）

土取跡地を活用した太陽光発電所の視察。設置時の概要、発電システム、再エネへの取組さらには今後の展望についての説明。



■11月25日（土）19:30～20:30 視察の共有・テーマの洗い出し（ホテル会議室）

- ・現地視察で感じたこと、印象に残った事等の共有
- ・発表テーマの洗い出し



■11月26日（日）9:00～16:00

【グループワーク】テーマの深堀・発表シナリオ作成



◇竹取出張とストレス発散：岡本愛良、永峰朋花、松井天音

放置林を解決するため、里山づくりをする人材を増やすためのシステムづくりを行う。また必要な技術を身につけるためのプログラムを作り自治体に向け発信していく。



◇チームリクイット：石倉悠人、宇多美友、田中初奈、松田紗弥
消化液を普及させてバイオマス発電を促進させる。



◇バンブーム：岩崎咲、上村美友、田中勇大、松尾瑠桜、村上舞、村上真美

竹害による環境破壊、土砂災害等を解決するため、県の竹を活用し地域を活性化することを提案。

竹をチップ化し、ヴィッセル神戸スポンサー企業においてバイオマス発電を行いスタジアム内の電力として供給。また竹製品からグッズを製作し環境配慮をアピールすることでヴィッセル神戸のイメージアップを図る。



◇エネルギー自給率と地域活性化：岡田成翔、金光茉帆、中西来斗、長谷川陽花、宮崎友里

エネルギー自給率を上げるため、神戸と淡路を結んだ環境エネルギーを導入するシステムづくり。



◇ソーラーシェアリングと愉快的仲間たち：加藤姫愛嘉、古畠彩葉、橋本沙奈、牧野宏信

農地を守り食料自給率を維持するためソーラーシェアリングのできた野菜を売る会社（アプリ）を立ち上げる。また、ソーラーシェアリングによってエネルギーも地域で循環する形を目指す。



(※欠席者：木村美羽、猿田愛美)